

令和4年度 議会報告会  
委員会報告 質疑応答概要

令和4年11月3日(木) 開催

質問項目	要 旨	
大栄地区小学校5校の 跡地利活用	Q	学校跡地については、発電施設などの再生エネルギーに力を入れていくことが大事ではないか。維持管理費だけでも膨大な費用がかかるので、十分に市民の声を聞いてやるべきではないか。
	A	サウンディング調査の中で、民間事業者から再生可能エネルギーの発電施設や災害時にも送電可能な蓄電施設の拠点という提案が出ていた。総務常任委員会で視察した南房総市では、極めて先進的な跡地利活用をしていた。2019年には台風等の被害により、子供たちの学びが止まってしまったが、学校跡地を利活用している民間事業者は、敷地内に整備した再生可能エネルギーを活用することで、災害時においても子供たちの学びが止まらない環境を提供したいと話しており、感銘を受けた。いただいたご意見やアイデアについては積極的に取り入れるよう、行政に進言していきたいと考えている。
国家戦略特別区域法に 基づく緑地面積率等に係 る準則を定める条例の制 定	Q	環境施設面積率が15パーセントから1パーセント以上になったが、企業誘致の面から、増えた面積はどれくらい活用できる面積があるのか。
	A	工業団地内でどのくらいの企業が手を挙げて、どのくらいの規模でやるかというのを今後精査していくということなので、今の段階では把握できていない。
東小学校跡地パークゴ ルフ場・複合施設新築工 事(建築工事)請負契約 の締結	Q	東小跡地パークゴルフ場・複合施設の利用率、費用対効果、今後の維持費について、委員会できちんと調査したのか。また、市民に対して、パークゴルフの推進を図るのか。
	A	利用者、利用率は、1日当たり80人、年間にすると約2万8,000人から2万9,000人を想定していると説明を受けている。費用対効果ということだが、公共施設なので、利益追求ではなく地域の福祉も含め市民の皆さんに楽しんでいただくという目的が強い。スポーツツーリズムの推進については、現在検討中と聞いている。維持費は、久住パークゴルフ場で指定管理を行っており、年間約2,600万円となるので、それを基準にして面積・規模等を考慮して約6,000万円から7,000万円の維持費と聞いている。
	Q	委員会で調査して納得したのか。
	A	本事業については、今まで何度か行政側から議会に議案があがってきている。例えば、令和2年度12月には小学校の解体工事の議案、本年6月には雨水貯留槽、造成工事について、先ほどご説明したとおり複合施設の新築工事、それぞれ議案があがり、我々の方で審査して可決しているので、適正と考えている。

令和4年度 議会報告会  
委員会報告 質疑応答概要

令和4年11月3日(木) 開催

質問項目	要 旨	
東小学校跡地パークゴルフ場・複合施設新築工事(建築工事)請負契約の締結	Q	この事業について、市民は知らない。いつもそうだが、成田市に言われて大騒ぎをする。議会の議員は、事前知っているのに話をしない。市民が知ってから反対をしてももう遅い。何のための議員なのか。
	A	議会で審議した内容や経過については、議会だよりや各議員が自身の広報紙やブログのほか市政報告会等で議会報告をしている。
成田空港の更なる機能強化の進捗状況	Q	今後、ターミナルの集約が言われているが、議会には、いつ頃報告があるのか。議会として何か把握していることがあれば教えてもらいたい。
	A	成田空港の更なる機能強化の中で、ターミナルを一つにしたらどうかという話があるのは新聞報道等で把握している。それは、新しい成田空港構想というものが出されており、そこにターミナルの集約、鉄道アクセス等の話が含まれていると伺っている。成田空港株式会社が主体的に全てやるということではないと思うが、外部有識者との意見交換をしながら、関係事業者と調査研究し、例えば技術的な面(鉄道アクセス)については、単線で鉄道が入っているので、アクセスの本数を増やすとなると複線化しないとなかなか本数を増やせない等の課題があると伺っている。これから有識者会議で協議を行っていくとのことだが、その構想がいつ頃になるかというものは、まだ伺っていないので、そのような話があった際には、しっかり市民の皆様にも説明できればと考えている。
輸出拠点化推進事業	Q	輸出拠点化と考えると業者関係かと思うが、立地場所を考えると成田空港が近く成田空港は旅行者が使うことが多い。その場合、成田市場で扱っている水産物、農産物を空港利用者(出国する人)が何らかの形で利用するという取り組みを検討しているのか。それとも、そのようなものは必要ないと考えているのか教えてほしい。
	A	新生成田市場は、成田空港に近いという利点を生かして、特に地場の農産物、近隣の水産物を海外に輸出するのに非常に有利な点が多いということで、スタートした。空港利用者の利用については、現状では近くにある新生成田市場に来ていただいて、購入するなど楽しんでいただければいいのではないかと考えている。今後は整備が予定されている集客施設棟を利用したルートが確立していくのではないかと考えている。

令和4年度 議会報告会  
委員会報告 質疑応答概要

令和4年11月3日(木) 開催

質問項目	要 旨	
JR成田駅西口・赤坂センター地区整備調査特別委員会	Q	西口の事業と赤坂の事業の関係性がある、一体的に特別委員会としてやっているのか。
	A	直接的な事業のリンクはないが、ニュータウンの入居が始まって50年、今3万3,000人位の人口がいる。関連するとすれば、一つは、ニュータウンの大半の方がJR成田駅西口を利用している。両方が古くなっていて、駅前も不便になってきたので整備が求められている。もう一つは、空港の機能強化によって成田市の人口が14万5,000人程度になることが想定されている。その受け皿として、複合施設を造ることによって、古くなったニュータウンの基盤整備をもう一度図っていきたいと考えている。
議決の過程	Q	議決の過程は。
	A	市長が提出した議案は、議案を専門的に審査する委員会ごとに振り分けて審査している。審査に要する日数は通常1日であるが、委員会の判断に応じて、2日、3日にわたって会議を開くこともある。委員会での審査が終了した後、本会議において、各委員長が審査経過を報告し、賛成・反対を多数決で決める流れである。